

農学部紀要投稿論文執筆要領

改定 2008年6月10日

改定 2017年4月1日

この執筆要領は、「東海大学紀要農学部に関する内規」第5条に基づき、投稿論文の作成に必要な事項を定める。

1. 投稿要領

- 1) 投稿論文は、ワードプロセッサを用いて作成する。
- 2) ページ数は、原則として刷り上がり8ページ以内とする。多くのページ数を要するものについては紀要委員会で検討する。
- 3) 原稿は、1部（デジタルデータ）を提出する。
- 4) 原稿1部とともに必要事項を記入した原稿添付用表紙を添付して紀要委員会へ所定の期日までに提出する。

2. 論文の体裁

- 1) 論文は、タイトルページ（表題、著者名、所属、短縮表題）、要約 [Summary]（英文論文では英文、和文論文では和文）、本文（緒言 [Introduction]、材料および方法 [Materials and Methods]、結果 [Results]、考察 [Discussion]、謝辞 [Acknowledgments]）、引用文献 [References]、図表 [Fig. and Table]（説明文を含む）、抄録 [Abstract]（英文論文では和文、和文論文では英文）の順とする。
- 2) 本文においては、結果および考察など、適宜一緒にすることができる。
- 3) 自然科学関係以外の論文は、所属する学会の慣例に従ってもよい。
- 4) これらの見出しには番号をつけない。

3. 表題の書き方

- 1) 表題は、論文内容を的確、かつ、簡潔に表現する。
- 2) 英文表題は冠詞、前置詞、接続詞を除いた各語は頭文字を大文字とし、末尾にはピリオドを打たない。

4. 短縮表題の書き方

- 1) 英文論文では、15語以内とし、所定の表紙に記入する。
- 2) 和文論文では、30字以内とし、所定の表紙に記入する。

5. 要約と抄録の書き方

- 1) 要約には、目的、方法、結果、結論の要点を簡潔明瞭に表現する。なお、要約には表題および著者名をつけない。
 - ・英文論文の要約は 300 語以内とする。
 - ・和文論文の要約は 600 字以内とする。
- 2) 抄録には、目的、方法、結果、結論をより具体的に表現する。なお、抄録の記載は、表題、著者名、抄文の順とする。
 - ・英文論文には、600 字程度の和文抄録をつける。
 - ・和文論文には、400 語程度の英文抄録をつける。

6. 本文の書き方

投稿する前に十分に文章を推敲し、論旨の明瞭な論文にする。英文では、事前に外国人または専門家による英文校閲を受けるなどし、正しい英文にする。

1) 用紙

A 4 サイズの用紙を縦方向に使用し、上下左右とも 2.5 cm の余白を設ける。

2) 字数

- ・英文論文は 12 ポイントの字体でダブルスペースにて印字し、1 ページあたり 26 行とする（約 2.5 ページで刷り上がり 1 ページとなる）。
- ・和文論文は 35 字×25 行の横書きとする。その際、現代かなづかいと常用漢字を用いる（約 2.5 ページで刷り上がり 1 ページとなる）。

3) ページ

タイトルページ(表題, 著者名, 所属, 短縮表題)を第 1 ページとし、要約[Summary]を第 2 ページとする。第 3 ページより緒言以下の本文を作成する。連続したページ番号を見やすい位置に記入する。行番号は左側の余白に上から順に 5, 10, 15, 20 と 5 行単位で記入する。

4) 文字

- ・和文・英文論文共通事項
 - a. 句読点は . , : ; とする。
 - b. 年度はすべて西暦に統一する。
 - c. *in vivo*, *in vitro* などのラテン語系副詞および慣用語ならびに学名は、イタリック体で表記する。
 - d. 略語は、要約（および抄録）と本文中それぞれで最初に使うところに正式名称を記し、かっこ内に略語を示す。
 - e. 数字はすべて算用数字を用い、半角で表記する（37°C, 2 時間など）。ただし、和文論文において熟語になっている数字は漢字を用いる（一方、一部分など）。
 - f. 化学名、物理・化学量は、IUPAC の勧告にしたがう。

g. 単位の略号は、原則として SI 単位を用い、ピリオドを付けない (km, kl, kg, h, min, s, rpm など).

・和文論文の場合

- a. 外国人名および地名は原名つづりで書く. その他の外国語は原名またはカタカナで書く.
- b. (), ハイフン, 句読点は全角とする.
- c. 動植物の和名は原則としてカタカナとする (ヒト, ウシ, ウマなど).

7. 引用文献の書き方

- 1) 引用文献は、引用順に一連番号をつけて記載する.
- 2) 引用は、引用箇所後に文献番号をカッコに入れて表記する. または、著者名の後につける.

例 :

------(1), -----(2, 3), -----(4-7). Ohyama *et al.* (8) -----.

- 3) 雑誌に掲載された文献の記載は、著者名 (全員), 発表年次, 雑誌名, 巻, 最初-最終ページの順とする.

例 :

1) Jung, A. Shippel, A.E., Grez, M. and Schutz, G., 1980, Proc. Natl. Acad. Sci. USA 77, 5759-5763.

2) 片桐千明, 藤井 保, 1984, 科学, 54, 205-213.

また、引用文献に巻数がなく号数のみの場合は、その号数に No. を付し, No.20, 42-45 のように記す. なお、巻数があっても通し番号がない場合は、巻数の後の () 内に号数を記す. さらに、学会講演要旨集より引用の場合は、末尾にその旨を明記する.

- 4) 和名雑誌の省略名は、所属する学会の慣例にしたがって記述し、欧文雑誌の省略名は、原則として **Biological Abstract** にしたがう.

- 5) 単行本の記載は、著者名, 発表年次, 書名, 発行所名, 発行地, 引用ページ, の順とする.

例 :

1) Schultze, H.E. and Heremans, J.F., 1966, Molecular Biology of Human Proteins, Vol.1, Elsevier, Amsterdam, pp.67-85.

2) 石黒正恒, 1978, SH 基の化学修飾, 第 2 版, 学会出版センター, 東京, 53-60.

なお、分担執筆の場合は、項目名, 編集者名 (または監修者名) を加える.

例 :

1) Yarrow, D., 1980, Genus 22. *Saccharomyces meyen exreess.* in The Yeast, a Taxonomic Study (Kreger-Van Rij, N.J.W. ed.), Elsevier, Amsterdam, pp.379-395.

2) Kocher, T.D. and White, T.J., 1990, PCR による進化の分析・PCR テクノロジー
ー (Erlich, H.A. ed., 加藤郁之進監訳), 宝酒造株式会社, 京都, 189-202.

- 6) 本文中に著者名を引用する場合, 2人の連名のときは必ず両者の姓を併記し, 3人以上の連名のときは筆頭著者以外を英文では“*et al.*”, 和文では“ら”と略記する.
- 7) 特許を引用する場合は, 特許権者(出願者), 特許番号(公告番号), 年号の順で記載する.

8. 図表の作成

- 1) 図(写真を含む)および表の表題(Title)や説明文(Legend)は原則として英文で表記し, 表題は頭文字のみ大文字とする.
- 2) 表題の位置は図ではその下側, 表ではその上側とする. また, 表題の末尾には図ではピリオドを打つが, 表では打たない.
- 3) 図および表にはそれぞれ一連の番号をつけ, 番号の数字の後にピリオドを打つ. なお, 数多くの図をばらばらにするよりも, 一括した方が理解しやすい場合には, まとめて一つの図として各小図に A, B, C, ... とアルファベットを付して順序を示す.
- 4) 図表の表題が 2 行以上になる場合には, 2 行目以降は行の 3 字目より始める.

例:

Fig.1. Association of the genes for albumin with the nuclear matrix in the liver of healthy rats.

Table 1. Effect of ethylene on the specific activity of various hydrolases in bean leaves

- 5) 原図はそのまま写真製版できるように作成する. 図表の刷り上がりの大きさ(幅)はページの幅(14.5 cm)あるいはページの半分幅(7 cm)にすることが望ましいので, そのことを考慮して原図の大きさと線の太さを決める. なお, 原図には縮尺あるいは刷り上がりの寸法を明記する.
- 6) 図の説明文は別紙にまとめて記述し, 図などとともに入れて添付する. なお, グラフの縦・横軸の説明および凡例などは図中に挿入することが望ましいが, 空所がない場合には説明文中に記載する.
- 7) 表の縦罫線は原則として使用しない. また, 横罫線もなるべく少なくし, 最上段の横罫線は二重線とする.
- 8) 表中の用語の説明は, その語の末尾に上付き記号を付し, 表の脚注として記述する. なお, 表中に記入する用語の頭文字は大文字とする.
- 9) 図表を本文中に引用する場合は, 原則として Fig.3 および Table 5 と記入する.

9. 朱書事項

- 1) 活字の書体を変える場合には、ゴシックは~~~~~，スモールキャピタルは_____，イタリックは_____，を文字の下に朱書きする。
- 2) 本文の見出しおよび引用文献の巻数はゴシックとする。
- 3) 学名および本文中に引用された著者名の“*et al.*”はイタリックとする。
- 4) 本文中に図表の挿入箇所を明記する場合は，本文を1行あけて“**Fig.1 を挿入**”のように朱書きで明記する。
- 5) 上付および下付の数字や記号は“1×10⁷”， K_2O ”のように朱書きする。
- 6) アルファベットで大文字と小文字とが同形のものは，“by ^{大 大 大}SDS PAGE”のように大文字のみ文字の上に“大”と朱書きする。
- 7) 原稿の訂正箇所，校正の訂正および印刷上の注意を要する箇所も朱書きする。

10. リポジトリ登録

論文受理後に必要事項を記入した東海大学機関リポジトリ登録申請・公開許諾書1部を紀要委員会へ所定の期日までに提出する。